子どもと緑が育つ番町・九段のまちづくり提案

磯山　直也　専任講師
（社会情報学部 社会情報学科 情報デザイン専攻）

◆ はじめに

大妻女子大学 千代田キャンパスの周辺にある番町･九段地区では､近年､マンションの建設が進み､地域に子どもたちの姿が増えてきました。しかし、遊べる公園などの外遊びの場はまだまだ少なく、安心して子どもたちが過ごせる空間の確保が課題となっています。

そこで私たちは、公開空地（こうかいくうち）や交通量の少ない生活道路などに着目し、「子どもから高齢者まで、誰もが楽しく過ごせる街路空間のあり方」について、地域のみなさんと一緒に考えていくプロジェクトを進めています。

2023 年度には、地域団体と連携して「クリスマスマルシェ」を初めて開催。大学のゼミや部活動・サークルなども参加し、たくさんの方にご来場いただくなど、地域と大学が一体となった取り組みとなりました。

2024 年度も、引き続きこの活動を広げるべく、勉強会やイベントを企画・開催しました。

◆ 主な活動内容

1） 街を学ぶ「みち活勉強会」

2024 年度は、地域や街の未来について一緒に学び、考える場として、全 6 回の「みち活勉強会」を開催しました。

- 第 2 回：対面形式での「ワールドカフェ」を実施。参加者同士が自由に話し合い、アイデアを出し合う時間となりました。
- 第 4 回：「ウォーカブルなまちづくりミニシンポジウム」を本学にて開催。
  安田不動産、千代田区の都市計画担当者、三番町・九段の町会長や副町会長、小学校の地域コーディネーター、大学研究者など多彩なゲストが登壇し、街づくりについて意見を交わしました。
- その他の回も、毎回ゲスト講師を迎え、オンライン形式でどなたでも参加できるようにしました。多くの地域の方々にご参加いただき、「これからの街の姿」について、さまざまな視点から学び合いました。

▸ 詳しくはこちら：
https://www.sis.otsuma.ac.jp/aid-lab/michikatsu/index.html



第 1 回 みち活勉強会の様子



第 4 回 みち活勉強会の様子

2）地域と大学をつなぐ「第 2 回 クリスマスマルシェ」

2023 年度に続き、2024 年度も「クリスマスマルシェ」を開催しました。

日程：2024 年 11 月 23 日／場所：大妻女子大学 E 棟と H 棟の間

大学のゼミや部活動、サークルによるブースのほか、地域の商店や団体の方々にもご出店いただき、たくさんの笑顔が集まる温かなイベントとなりました。地域の子どもたちも多く来場し、街の人と大学がつながる素敵なひとときとなりました。

▸ 詳しくはこちら：
https://www.sis.otsuma.ac.jp/aid-lab/ChristmasMarche/2024/index.html



クリスマスマルシェの様子 2



くマルシェの様子 1

◆ 今年の成果とこれから

2024 年度は、勉強会とイベントの両方を通して、地域の方々と共に「自分たちの街をどうしたいか」を考えるきっかけを数多くつくることができました。

学びの場（みち活勉強会）と、実践の場（クリスマスマルシェ）をつなぎながら、実際に体験することで理解が深まり、街づくりへの関心が高まっていることを実感しています。

この活動は、社会情報学部 環境情報学専攻・木下勇教授、家政学部 児童学科・久保健太専任講師と連携した、学部を横断する取り組みでもあります。ゼミの学生たちも活躍し、地域のさまざまな団体の協力も得ながら、多角的に街づくりを考えていくプロジェクトとなっています。

◆ 今後の展望

今後も、街の方々と共に「誰もが過ごしやすい街」の形を探り続けていきます。特に、子どもが外でのびのびと過ごせる空間づくりを中心に、学びと実践の場を継続していきます。

これからも引き続き、みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。